

「スカイ・アーク・マードーズ 紹介文」

岡和田晃

『エクリップス・フェイズ』日本語版翻訳監修者の朱鷺田祐介による新作「スカイ・アーク・マードーズ」をお届けしよう。

今回の「SF Prologue Wave」が更新される頃には、アナログゲーム総合情報書籍「RoleRoll」Vol.144が発売されていることだろう。そこには本作と舞台を共有するゲーム・シナリオ「スカイ・アーク・クライシス」が掲載されている。もちろん、朱鷺田祐介の筆になる作品だ。

映画『ジュラシック・パーク』や、デジタルゲームの『デイノクライシス』を彷彿させるシナリオとなっているので、ぜひ遊んでみてほしい。

宇宙もののSF-RPGは大きく分けて、太陽系を舞台にする作品と銀河系を舞台にする作品がある。『エクリップス・フェイズ』は前者に相当するが、ワームホールである「パンドラ・ゲート」を利用すれば、太陽系を何百光年も離れた銀河の彼方にまで旅を

することが可能になる。

このパンドラ・ゲートについては、未訳サプリメント『Gatecrashing』に詳述されているが、「Role&Roll」Vol. 144では、同書からスカイ・アークの設定に該当する箇所を抄訳しているので、わざわざ英語の本を読まずとも太陽系外惑星での冒険を堪能することができるようになっている。活用していただきたい。

朱鷺田祐介は、書評サイト「[シミルボン](#)」で『エクリプス・フェイズ』に関連したブックガイドを書いている。こちらも参考になるかもしれない。